



かけはし通信



藤枝市こども課

こばとこども園公開保育

6月27日に藤枝市私立幼稚園・認定こども園協会主催の南ブロック研修全体会・公開保育が行われました。本年度は、保育協会・公立小中学校にもご案内をいただき、保育園長先生、校長先生方、近隣園、小学校の先生方も参加されました。全体会では、研修報告の中でこばとこども園で大切にしていることをお聴きし、その後の公開保育では、こどもたちが、生き生きと夢中になって遊び、体を動かしている様子を参観することができました。



園同士の横のつながりがなかった中、この公開にお誘いいただき、他園の保育の様子を参観することができ、先生方と語り合うことができました。午後の振り返りの中で、当日も「もっとこうしたい!」というこどもの発見があり、今日が集大成ではなく、まだまだ遊びは継続され、深化していくとお聞きし、わくわくしました。また、午後の講師の先生のお話の中で、1年前の園訪問の時の様子と今日の公開保育の様子を比べ、「ここまで変わるんだ。」とおっしゃっていたので、「保育は変わろうと思えば、変わるんだ!」と強く思いました。(保育園長)



私は、中学校に勤務することが多かったので、初めて園の様子を参観させていただきました。「遊んで身に付く36の基本的な動き」も大変新鮮で、園での活動も緻密によく考えられていることがよくわかりました。また、教具などの環境設定が素晴らしく、年齢に応じて、こどもたちの興味が続き自然と運動できるように工夫されていました。勤務校でも、持続可能な方法で少しでも取り入れていくことができるといいと思います。



(小学校長)

考え方も環境も異なる他園を見ることは、とても新鮮で、大きな学びになっています。振り返りの中でも保育の語り合いができ、保育について多くの思いを共有することができます。時には、保育の悩みも参加者で分け合うこともでき、よい機会になっています。

(こども園主幹)



4月に入学してきた1年生は、1年前はこうやって夢中になって思いっきり遊んでいたんですね。小学校にきて、「遊ぶ時間が少ない」と思うのも無理もないです。「学校での活動をもっと工夫しないと!」と思いました。

普段から園の様子をもっと参観してみたいと思いました。

(小学校1年担任)



今回、こばとこども園の皆様のおかげで、横のつながり、縦のつながりがまた1つ広がりました。

まずは「お互いを知ること」からスタートだと言われますが、「百聞は一見にしかず」ですね。ご協力ありがとうございました!

